

～脳卒中 予防・治療最前線～ No.2



脳卒中は日本人の死因第3位・寝たきり原因の約4割！



岩井良成
川崎幸病院統括副院長
脳神経外科部長
脳血管センター長



今回は脳卒中の予防についてご説明いたしました。今回、脳卒中シリーズの第2回目として、脳卒中発症時の対応についてご説明いたします。

【脳卒中が起こったらどうする？】

脳卒中は一刻を争う緊急事態です！ あなた、または周りの人の119番コールにより、出来るだけ早く脳卒中を専門に治療している病院へ搬送することが必要です。脳卒中では、以下のような症状が突然起こります。

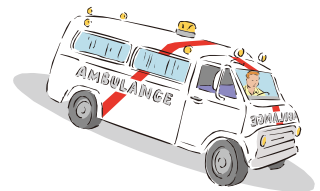
- ① 片方の手足・顔半分の麻痺・しびれが起こる（手足のみ、顔のみの場合もあります）
- ② ロレツが回らない、言葉が出ない、他人の言うことが理解できない
- ③ 力はあるのに、立てない、歩けない、フラフラする
- ④ 片方の目が見えない、物が二つに見える、視野の半分が欠ける
- ⑤ 経験したことのない激しい頭痛がする（くも膜下出血の可能性もあります）

突然上記のような症状が出たら・・・、「しばらく様子をみよう」と考えてはいけません！まず“脳卒中？”を疑って、救急車を呼びましょう。

また、そのほか簡単な「顔・腕・言葉」のテストがあります。そのうち1つでも異常があれば、7割以上は脳梗塞・脳出血と考えられます。すぐに周りの人が119番コールをしてください。

脳卒中？ 顔、腕、言葉ですぐ受診

- 顔：にっこり笑うと口や顔の片方がゆがむ
腕：両手をあげる（手のひらを上にして）と片方の手が下がる
言葉：「太郎が花子にリンゴをあげた」とうまく言えない



脳梗塞の場合、発症から3時間以内に血栓を溶かすt-PAという薬を投与するのが有効です。準備等に1時間程度かかる為、一刻も早く対応できる病院（t-PA治療は全ての病院で出来る訳ではありません）に向かう事が重要です。

脳ドック

～あなたの脳は大丈夫ですか？～

次のような方には脳ドックを推奨します。

- ◆家系に脳の病気(特にくも膜下出血)を患った方がいる
- ◆手足のしびれや手足の動きが悪い
- ◆頭痛・めまい等がある
- ◆高血圧・糖尿病・高脂血症・肥満の方

川崎幸病院の脳神経外科専門医が担当します。

検査内容：MRI・MRA、動脈硬化検査、頸動脈エコーによる簡易脳ドック

費用：27,000円(消費税込)

お問合せ：川崎幸病院 脳ドック受付 TEL044-544-9881

40歳を過ぎたら、是非脳ドックを！

脳卒中は予防が大切です。『その為には、高血圧・糖尿病などの生活習慣病の予防・管理が重要です。喫煙・過度の飲酒を控え、塩分・糖分・脂肪分を出来るだけ控えた食事を実践しましょう。』

この機会に毎日の生活習慣を見直しましょう！
『最後に発症したらすぐに救急車で病院へ！』

川崎幸病院では24時間365日、脳卒中の患者さんを受け入れ、専門医が診察と治療にあたります。

(t-PA対応)



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

川崎市幸区都町39-1

044-544-4611 (代表)